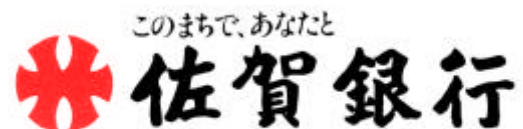


さぎん 会社説明会



平成20年 6月



目次

部 平成19年度決算の概要

1.	不良債権の状況	...	4
	(ご参考) 頭取のメッセージ - 不良債権比率の引き下げ	...	5
	不良債権の状況	...	6
2.	繰延税金資産	...	7
3.	自己資本比率・Tier 比率の推移	...	8
4.	平成19年度損益の状況	...	9
	(付) 平成20年度業績見通し	...	10
5.	平成19年度末資産・負債・純資産の状況	...	11
6.	有価証券の状況	...	12
7.	統合的リスク管理	...	13
8-1.	貸出金平残の状況 年度平残の前年比増減(全体)	...	14
8-2.	貸出金平残の状況 8-1の半期別・地域別)	...	15~16
	(付) 貸出金平残の状況 8-1の四半期別(全体)	...	17

部 第12次中期経営計画の進捗状況

9.	第12次中期経営計画のテーマ	...	19
10.	第12次中期経営計画の進捗状況	...	20

部 貸出金利息増加策

11.	佐賀と福岡 - 巨大な福岡市場	...	22
12.	福岡戦略 - 事業性貸出金の増加策	...	23

部 貸出金利息増加策(続き)

13.	福岡戦略の実績	...	24
14.	佐賀県内の景気動向	...	25
15.	佐賀・長崎地区での事業性貸出金の増加策	...	26
16.	個人ローン増加策	...	27

部 役務取引等利益増加策

17.	役務取引等利益の状況	...	29
18.	役務取引等利益の増加策	...	30

部 経費の削減策

19.	三行共同化とコスト削減プロジェクト	...	32
20.	施策の物件費削減効果(物件費の推移比較)	...	33

部 イノベーション

21.	さらなる成長への改革	...	35
-----	------------	-----	----

ご参考

平成20年度入行式頭取訓示	...	36~37
---------------	-----	-------

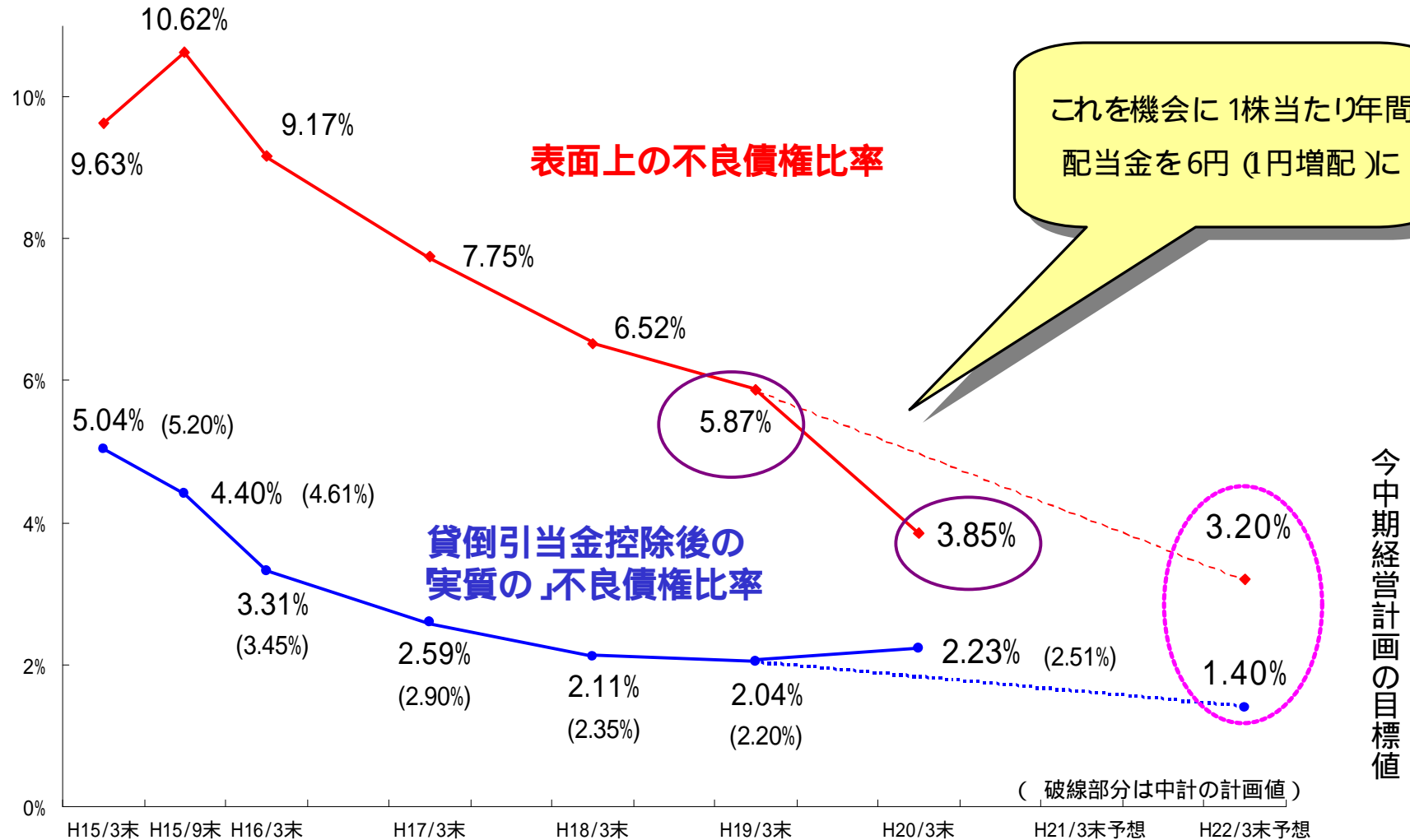
部 平成19年度決算の概要

1.不良債権の状況	・・・	4
(ご参考) 顔取からのメッセージ - 不良債権比率の引き下げ	・・・	5
不良債権の状況	・・・	6
2.繰延税金資産	・・・	7
3.自己資本比率・Tier 比率の推移	・・・	8
4.平成19年度損益の状況	・・・	9
(付)平成20年度業績見通し	・・・	10
5.平成19年度末資産・負債・純資産の状況	・・・	11
6.有価証券の状況	・・・	12
7.統合的リスク管理	・・・	13
8- 1.貸出金平残の状況 年度平残の前年比増減(全体)	・・・	14
8- 2.貸出金平残の状況 [8- 1の半期別・地域別]	・・・	15, 16
(付)貸出金平残の状況 [8- 1の四半期別(全体)]	・・・	17

1.不良債権の状況

▶ 不良債権の最終処理を進め、表面上の「不良債権比率は3%台へ

不良債権比率 (金融再生法開示債権比率) の推移



これを機会に1株当たり年間
配当金を6円(1円増配)に

今中期経営計画の目標値

貸倒引当金控除後の不良債権比率を計算する場合、不良債権の額から個別貸倒引当金の額と要管理先に対する一般貸倒引当金の額を控除している。これは、要管理先の要管理債権のみに対する一般貸倒引当金の額が不明のためであるが、念のため、要管理先債権に対する一般貸倒引当金を「要管理債権の額 / 要管理先債権の額」で按分したものを「要管理債権に対する一般貸倒引当金」と見た場合の数値を()書きで表示した。

(ご参考)

当行では、頭取と行員との意見の交換の場として行内 LAN に「頭取のページ」が設けられており、頭取からの行員全体へのメッセージが掲載される一方、個々の行員から頭取へ意見等のメールを送ることができるようになっています。このページは、頭取から行員全体へ送ったメッセージの中から一部を抜粋したもので、当行 HP の「頭取のページ」にも掲載しております。

頭取からのメッセージ - 不良債権比率の引き下げ (平成19年12月27日)

当行では今、表面上の不良債権比率の引下げに取り組んでいます。表面上の」というのは、これ迄もお話して来たように「実質的」に対する言葉です。当行は表面上の不良債権比率は高いけれども積んである貸倒引当金を差し引いた実質的な不良債権の比率では、全国でも不良債権の少ない銀行の一つだと言って来ました。

以前、当行の特徴として、お客様からは「面倒見の良い銀行」ということが言われている、と書いたところ、皆さんの中から「そんなことはない」という反論がありました。面倒見の良さが単にズルズル貸増しを続けることの裏返しであったのであればあまり評価できませんが、外から「面倒見の良さ」を言われるのも事実です。折角の評価は大事に行かなければなりません。

そういう中で当行は、不良債権の処理に当たっても、他行ほどには不良債権をバルク等でどんどん切り離すことをせず、できることなら手元での再建をという気持ちで来ました。しかし、こうした処理方式をとってすでに5年を経過しようとしており、他行の不良債権比率が下がっていく中で「実質で見てもらえばよい」だけでは必ずしも済まなくなっていることも事実です。

今のままの方式でよいのか、という時に、次のような点が出てきます。

新聞や雑誌の銀行のランク付けは表面上の比率によるため当行はどうしても見劣りすることになります。それは当行の株価にも全く影響が無いともいえず、当行の株主の方は「もうそろそろどうにかしてよ」と思っておられるかも知れません。

専門家は表面上と実質的との区別を分かってくれていると思いますが、それでも中には、表面上の比率を下げられないのは何か理由が有るからなのではないかと勘繰っている人もいます。

一方で、5年を経ようとして債務者企業の再建の可能性や方向もほぼ明確になってきています。

中にはいつまでも待ってもらえると思うのか再建の熱意が足りないと思われる例も見られます。(再建には経営者の責任の追及や私財提供といった債務者にとっての痛みが加わる場合もあります。)

こうした場合、折角の再建のチャンスを逃してしまう場合も出て来かねません。

この点、兎も角これ迄は景気は緩やかとはいえず上昇局面に有りましたが、そろそろ次の景気の下局面も想定に入れる時期に来ています。引当金を積んでの再建処理は言わばリハビリのベッドを用意しているようなものですから、次の局面では新たな患者さんが出て来ないとも限りません。早くベッドを空けてもらうことも必要です。

こうしたことから、現在表面上の不良債権比率も下げようとしています。債務者の方々とはできる限りお話しするようにしていますが、中にはご不満の方もおられ、皆さんに不満の声を聞えてくるかも知れません。しかし、当行は決して「面倒見の良い銀行」であることを止めたわけではないことは、皆さんよく理解しておいて下さい。

不良債権の状況

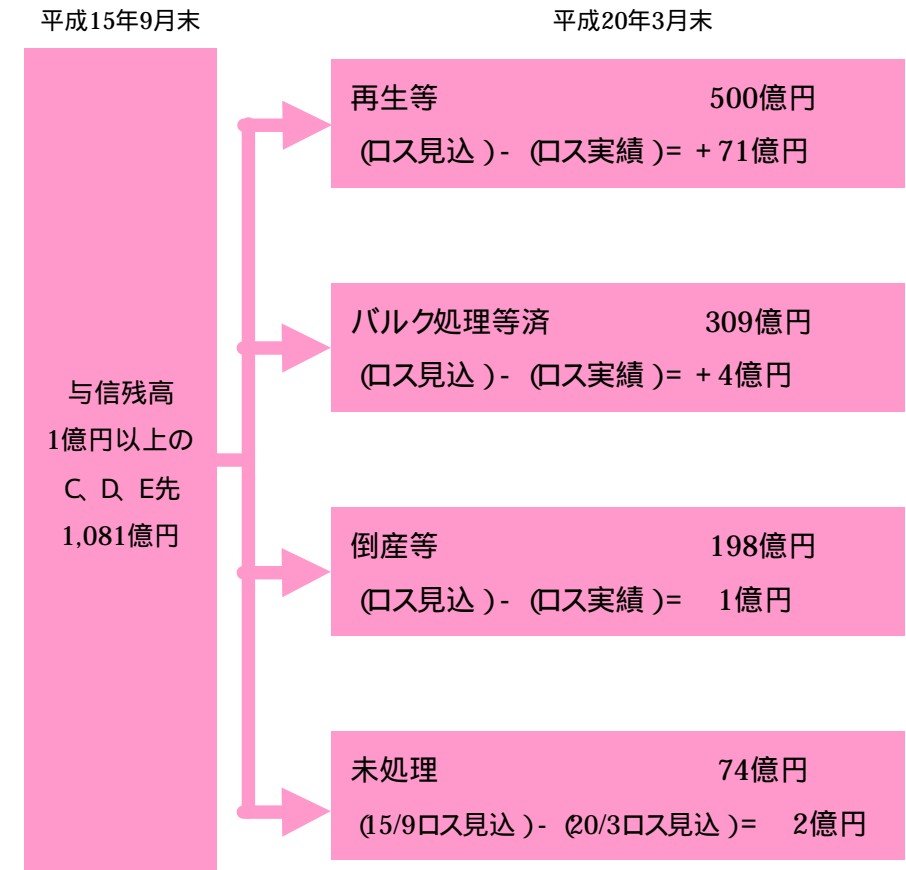
▶ 両建て方式でも差引き二次ロスとはならなかった

1. 不良債権 (金融再生法開示債権) の残高

平成15年3月末	平成19年3月末	平成20年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (D, E) 297億円	D, E 462億円	D, E 141億円
危険債権 (C) 560億円	C 191億円	C 185億円
要管理債権 (B4) 404億円	B4 801億円 1先10億円以上のB3、B2 51億円	B4 145億円 1先10億円以上のB3、B2 52億円
1先10億円以上のB3、B2債権 335億円	その他要注意先 1,530億円	その他要注意先 1,539億円
その他要注意先債権 (B1と1先10億円未満のB3、B2) 2,036億円	A 10,195億円	A 10,182億円
正常債権(A) 9,484億円		
合計 1兆3,119億円	合計 1兆2,509億円	合計 1兆2,247億円

億円未満は切り捨てて表示しております。

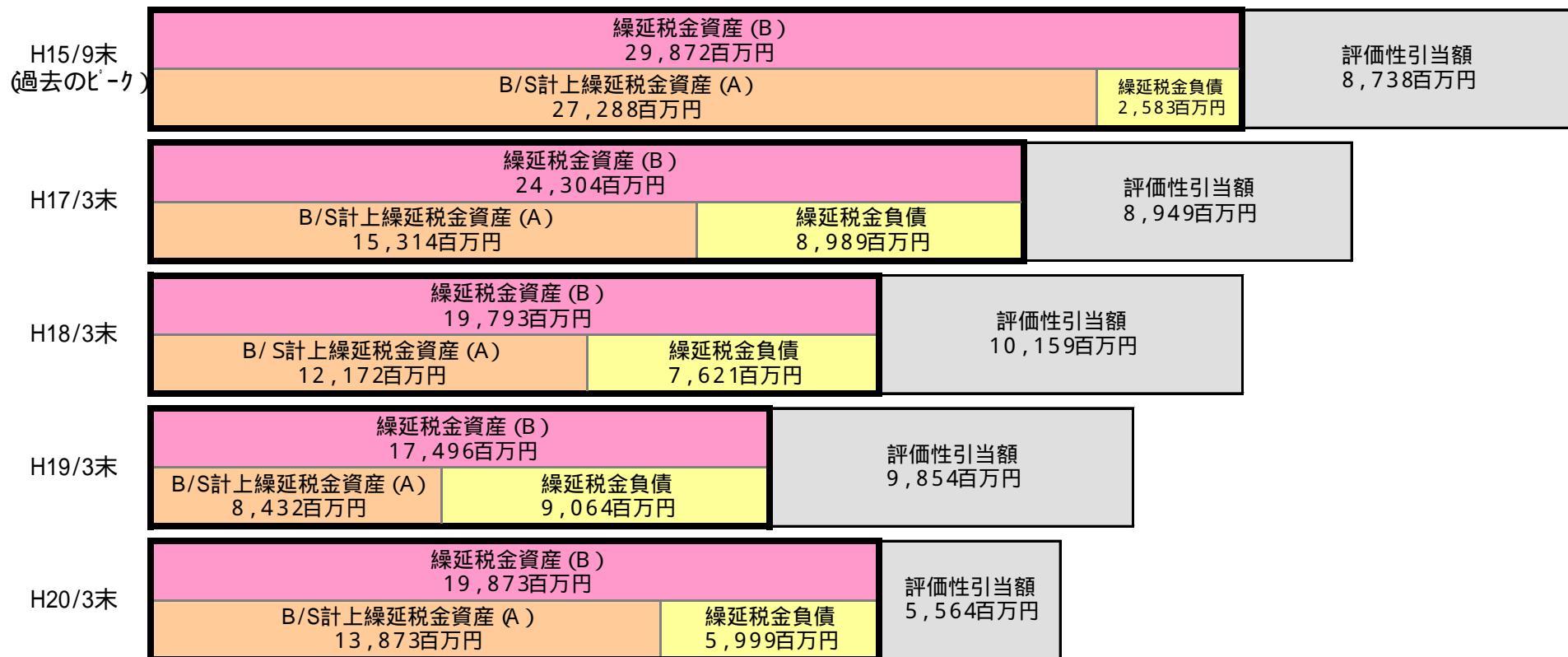
2. 両建方式での二次ロス



「ロス見込」は平成15年9月末の保全不足額である。当時バルク等処理をしていた場合、買い叩きによって、ロスが見込より大きくなっていった可能性がある。

2.繰延税金資産

- ▶ 不良債権の最終処理の進展により繰延税金資産は増加（評価性引当額との合計額では引き続き減少）

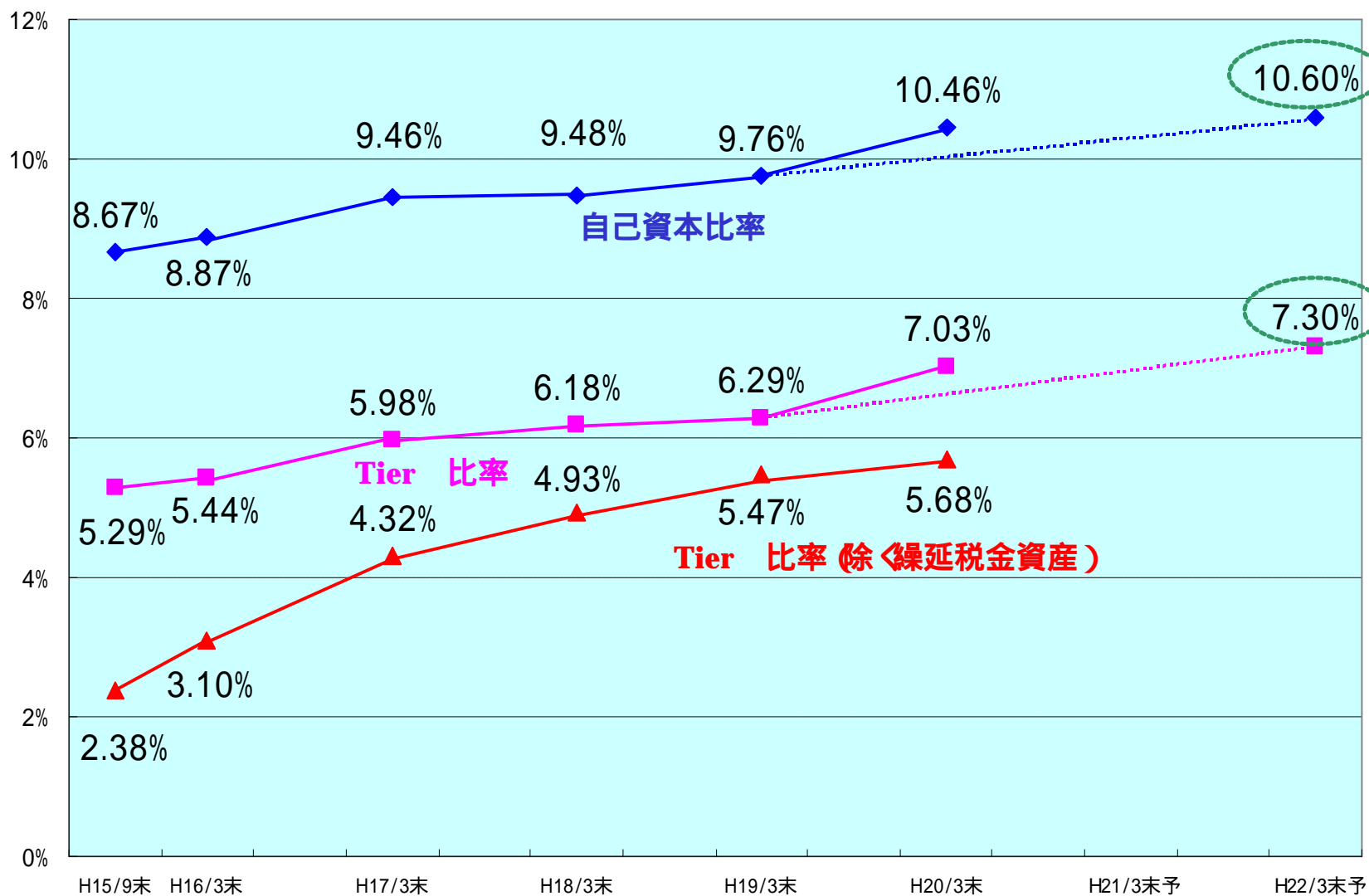


中核的資本に占める繰延税金資産の割合

	H15/9末	H17/3末	H18/3末	H19/3末	H20/3末	今中計目標 (平成22年3月末)
Tier 中 (A) の比率	56.25%	28.95%	21.32%	13.79%	20.27%	1.00%
Tier 中 (B) の比率	61.58%	45.94%	34.68%	28.63%	29.03%	13.90%

過去の比-ク

3.自己資本比率・Tier 比率の推移



今中期経営計画の目標値

「H18/3末」までは旧基準、「H19/3末」以降は新基準にて算出。
 新基準における信用リスクについては「標準的手法」、オペレーショナルリスクについては「基礎的手法」を採用。
 繰延税金資産はB/S計上額。

4.平成19年度損益の状況

番号	項目	平成18年度	平成19年度	比較	備考
1	資金運用収益 2+3+4	33,702	35,257	+1,555	
2	貸出金利息	26,211	27,128	+917	貸出金平残 +3,802百万円 (+0.31%) 貸出金利回り 2.18% 2.25% (+0.070%ポイント)
3	有価証券利息	7,156	7,599	+443	有価証券平残 +32,650百万円 (+6.28%) 有価証券利回り 1.377% 1.376% (0.001%ポイント)
4	その他	334	530	+196	
5	資金調達費用 6+7	3,659	5,687	+2,028	
6	預金等利息	1,758	4,359	+2,601	預金等平残 +22,968百万円 (+1.31%) 国内預金利回り 0.097% 0.235% (+0.138%ポイント)
7	その他	1,901	1,328	573	外貨資金調達費用の減少 506百万円
8	資金利益 1-5	30,043	29,571	472	
9	役務取引等収益	7,126	6,916	210	投資信託関係 698百万円 691百万円 (7百万円) 保険代理店関係 235百万円 310百万円 (+75百万円)
10	役務取引等費用	3,302	3,319	+17	
11	役務取引等利益 9-10	3,823	3,597	226	
12	その他の業務収益 (除債券5勘定戻)	870	1,209	+339	
13	その他の業務費用 (")	0	0	0	
14	その他の業務利益 (") 12-13	870	1,209	+339	
15	業務粗利益 (") 8+11+14	34,738	34,378	360	
16	経費	24,858	24,445	413	物件費の減少 392百万円
17	コア業務純益 15-16	9,879	9,933	+54	
18	一般貸倒引当金繰入額	(取崩益) 2,770	2,563	+5,333	
19	個別貸倒引当金繰入額	3,978	1,741	2,237	
20	債権売却損等	(売却益) 377	(売却益) 765	388	→ 売却益の増加
21	クレジットコスト 18+19+20	830	3,539 (注1)	+2,709	注1:貸出金平残対比 0.29%
22	債券5勘定戻	559	125	+684	
23	その他の臨時損益	237	413 (注2)	176	注2:うち株式等償却 617百万円
24	経常利益 17-21+22+23	8,250	6,103	2,147	
25	特別損益	687	1,140 (注3)	453	注3:うち土地・建物の減損損失 879百万円
26	税引前当期純利益 24+25	7,563	4,963	2,600	
27	法人税等・法人税等調整額	2,663	2,721	5,384	
28	当期純利益 26-27	4,899	7,685	+2,786	

単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

(付)平成20年度業績見通し

番号	項目	平成19年度	平成20年度	比較	備考
8	資金利益	29,571	29,900	+329	貸出金平残 +10,543百万円 (+0.87%) 貸出金利回り 2.256% 2.289% (+0.033%ポイント) 国内預金利回り 0.235% 0.263% (+0.028%ポイント) 注1)貸出金平残対比 0.20%
11	役務取引等利益	3,597	3,600	+3	
16	経費	24,445	24,600	+155	
17	コア業務純益	9,933	9,700	233	
21	クレジットコスト	3,539	(注1) 2,500	1,039	
24	経常利益	6,103	7,500	+1,397	
28	当期純利益	7,685	4,500	3,185	

今後は、
 0.2～0.3%を見込む

資金利益予想の前提となる日銀政策金利の見通しについては、今年度中の政策金利の引き上げは見込んでおりません。
 単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

5.平成19年度末資産・負債・純資産の状況

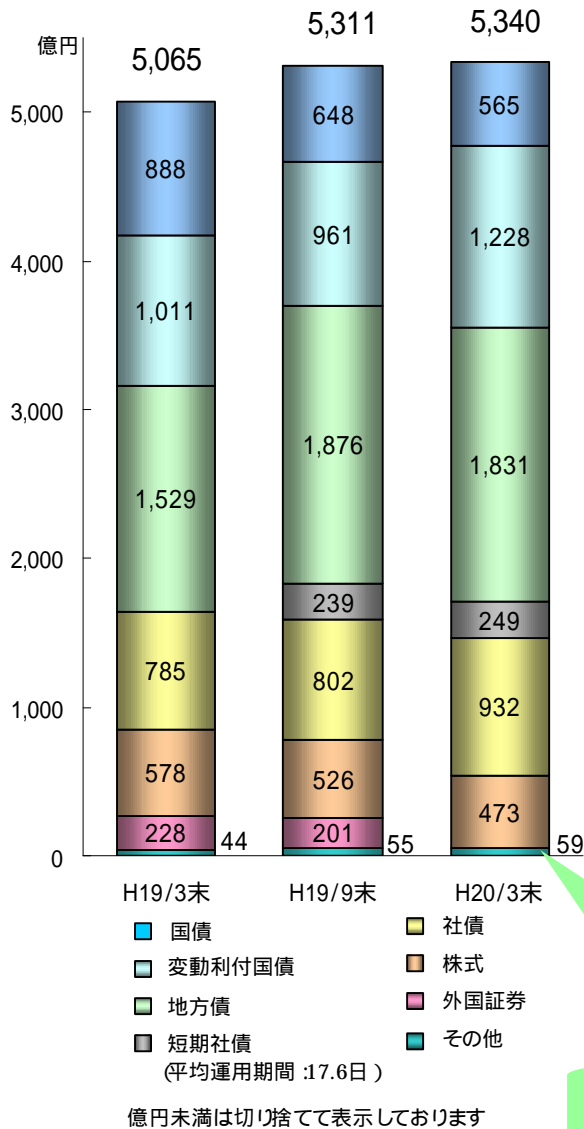
番号	項目	平成19年3月末	平成20年3月末	比較	備考
	(資産の部)				
1	現金預け金、コールローン 買入金銭債権、特定取引資産 金銭の信託、短期社債	165,986	166,629	+643	
2	有価証券(除く短期社債)	506,543	509,094	+2,551	国内債券 +34,375 (除く短期社債) 外国債券 22,828 株式 10,548 バルク等不良債権処理 45,176
3	貸出金	1,225,733	1,201,059	24,674	
4	外国為替・その他資産	8,405	10,253	+1,848	
5	有形・無形固定資産	31,055	31,856	+801	
6	繰延税金資産	8,432	13,873	+5,441	
7	支払承諾見返	19,127	18,463	664	
8	貸倒引当金	50,120	22,050	+28,070	
9	合計	1,915,161	1,929,179	+14,018	
	(負債の部)				
10	預金	1,732,922	1,744,956	+12,034	うち個人預金の増加 +30,512 (1,223,407 1,253,919) 別途、個人預かり資産残高(増加 +20,488 (174,409 194,897))
11	譲渡性預金	28,306	30,974	+2,668	
12	コールマネー・借入金	23,597	(注1) 22,553	1,044	(注1)うち劣後特約付借入金 20,500
13	外国為替・その他負債	5,912	6,961	+1,049	
14	賞与引当金・退職給与引当金	13,998	11,980	2,018	
15	役員退職慰労引当金	620	614	6	
16	睡眠預金払戻引当金	-	102	+102	
17	再評価に係る繰延税金負債	6,890	6,511	379	
18	支払承諾	19,127	18,463	664	
19	合計	1,831,377	1,843,118	+11,741	
20	純資産の部合計	83,784	86,061	+2,277	
21	負債及び純資産の部合計	1,915,161	1,929,179	+14,018	

単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

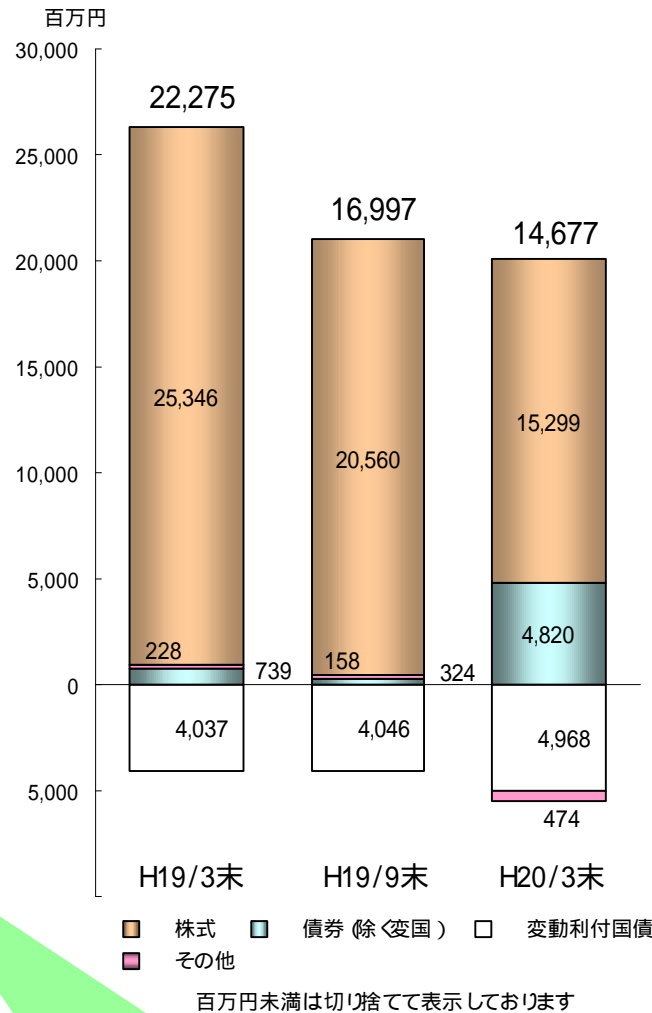
「個人預かり資産残高」は、投資信託、個人年金保険、公共債の合計額。

6. 有価証券の状況

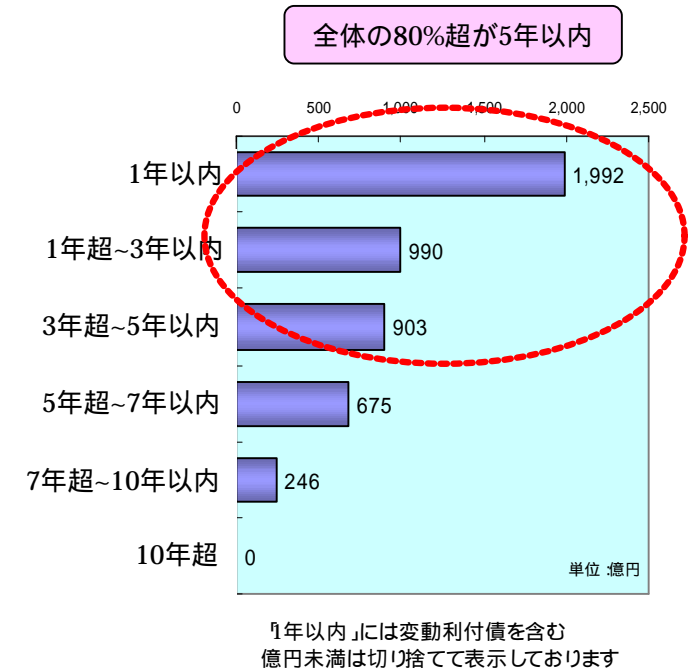
1. 有価証券残高 (BS計上額)



2. 『その他有価証券』の評価損益



3. 国内債券の残存期間別残高 (H20/3末)



4. 国内債券の平均残存期間と10BPV

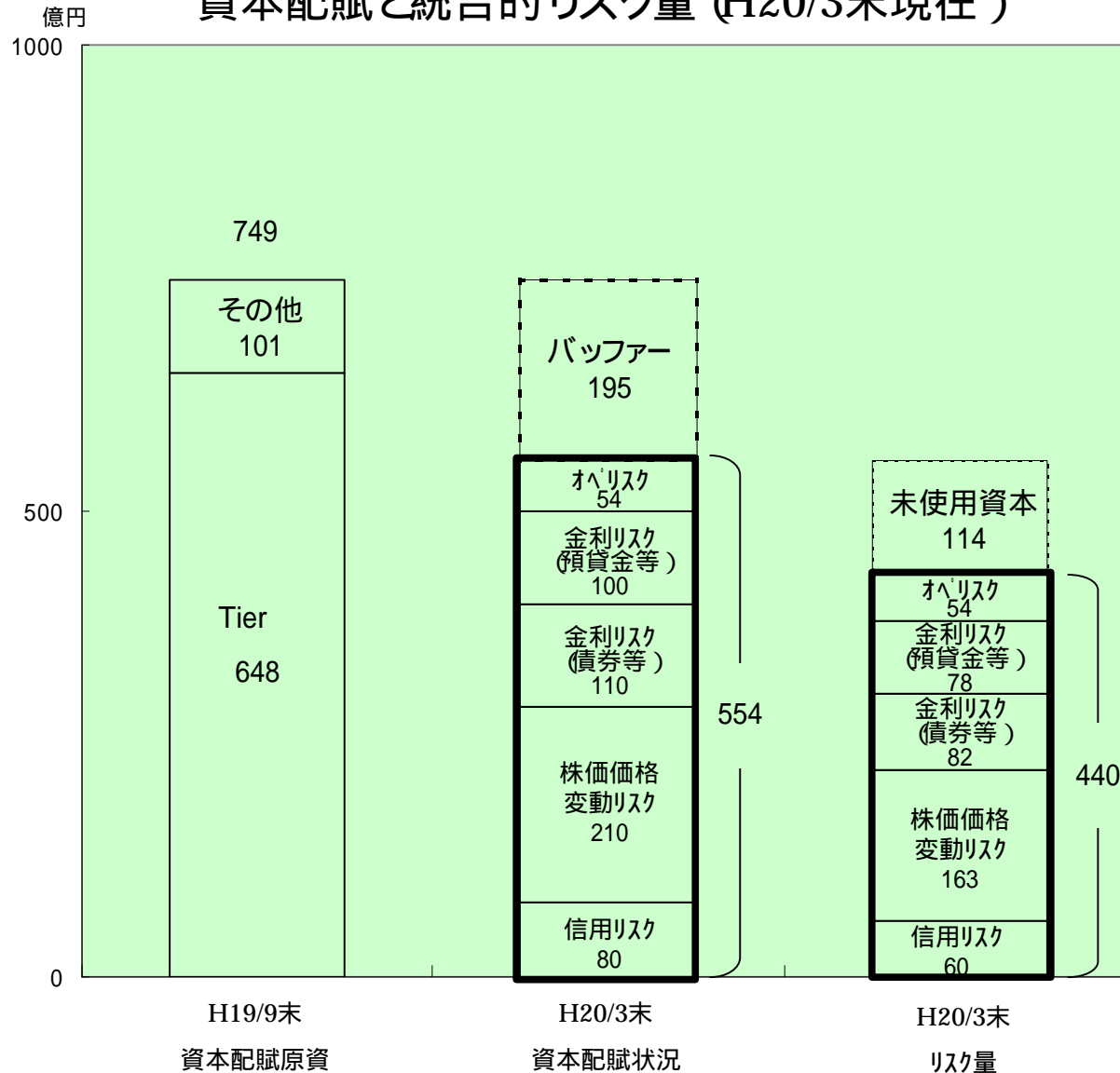
	H19/3末	H19/9末	H20/3末
平均残存期間 (年)	2.95	3.14	2.80
10BPV (百万円)	1,073	1,175	1,093

変動利付国債は0.5年として算出

サブプライム関連商品への投資はありません

7. 統合的リスク管理

資本配賦と統合的リスク量 (H20/3末現在)



その他 = その他有価証券評価差額金 億円未満は切り捨てて表示しております。

アウトライナー比率 (H20/3末)

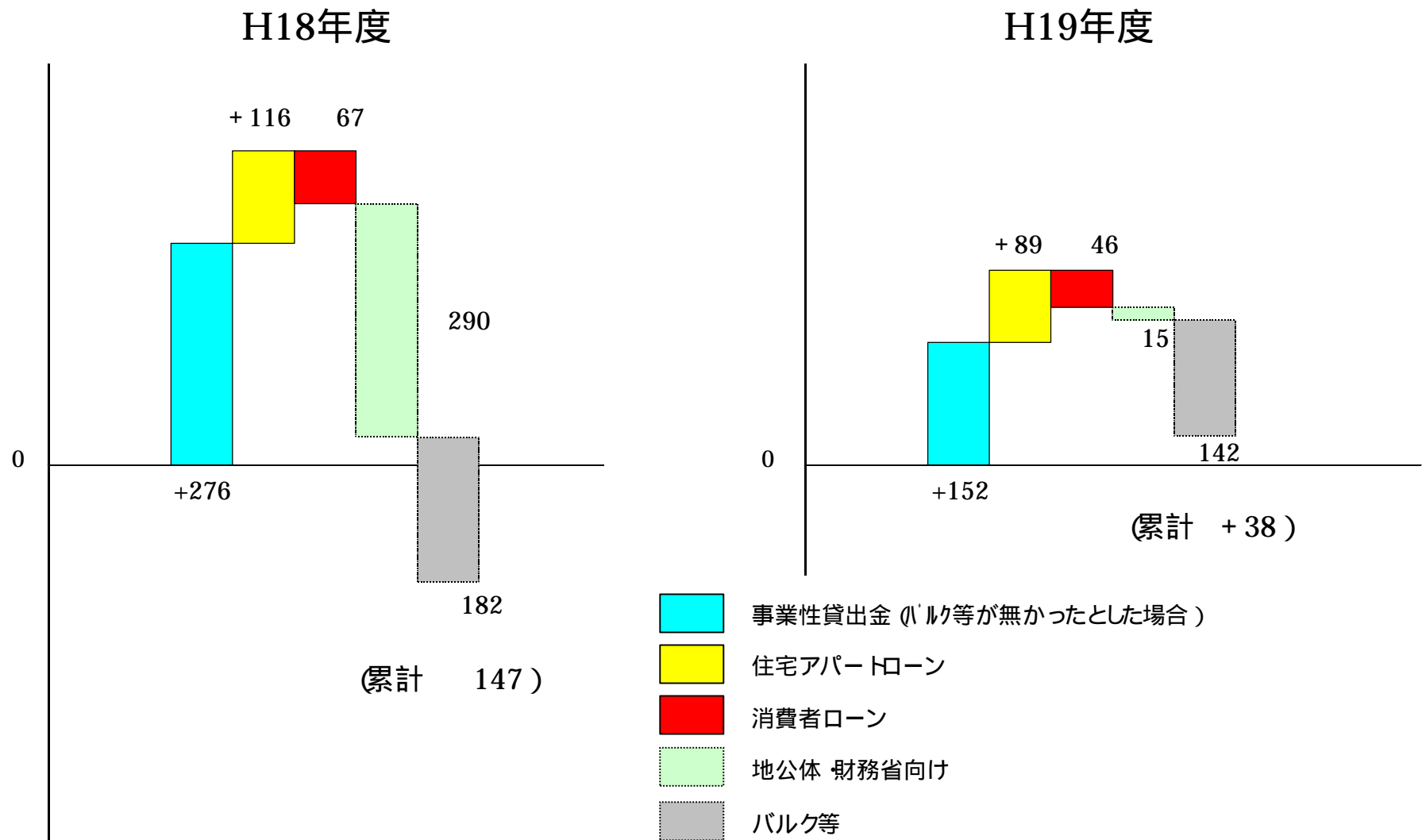
金利リスク量 (百万円)	Tier +Tier (百万円)	アウトライナー比率
13,156	101,560	12.95%

計測方法 完全再評価方式
 金利ショック幅 ハーセンタイル値
 17預金 流動性預金の50%を平均2.5年にて考慮

リスク計測基準)

信用リスク	...	保有期間	1年
		信頼区間	99%
金利リスク	...	保有期間	1~60日
		信頼区間	99%
株価価格変動リスク	...	保有期間	20~125日
		信頼区間	99%
オペレーショナルリスク	...	ハースル	基礎的手法

8 - 1 .貸出金平残の状況 年度平残の前年比増減 (全体)



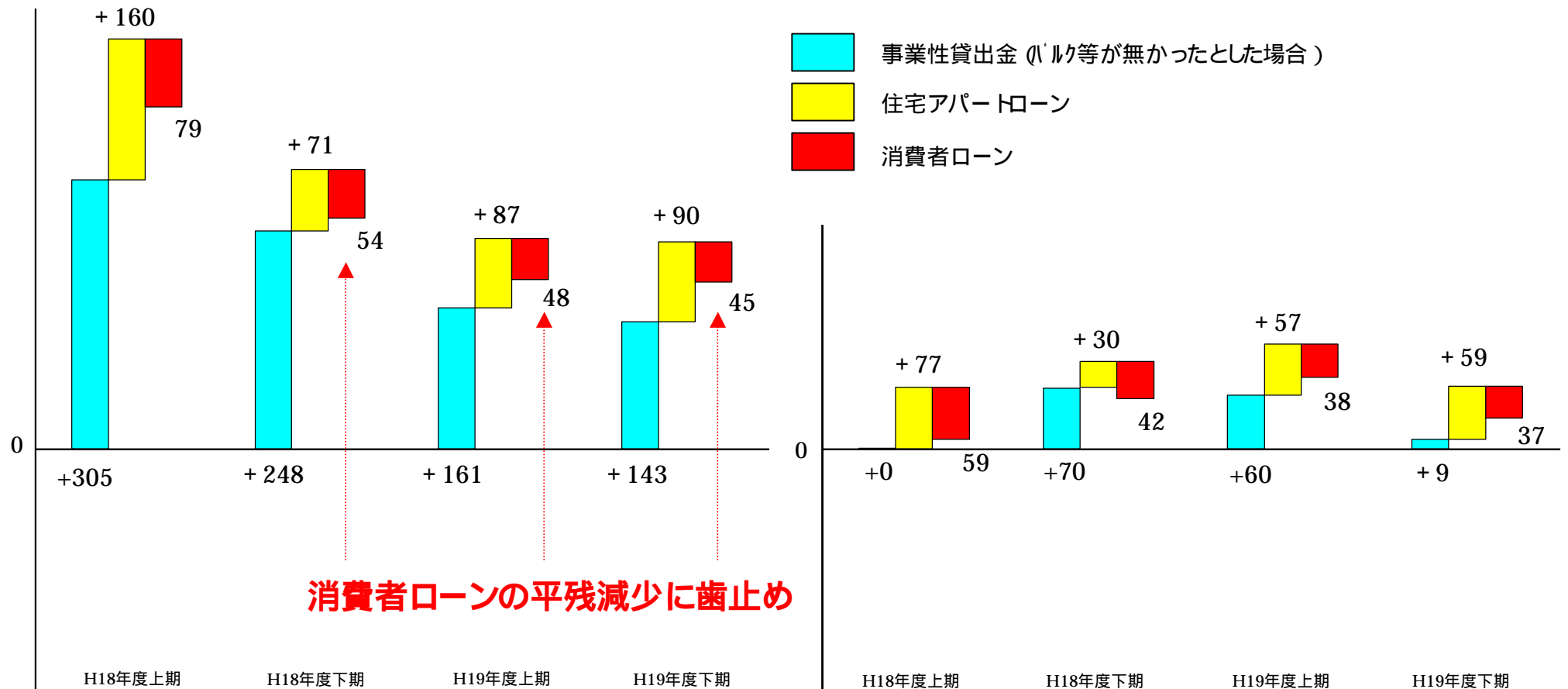
事業性貸出金は総貸出金から政府向け、地公体向けおよび個人ローンを除いたものです。

単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

8 - 2 .貸出金平残の状況 [8 - 1の半期別・地域別]

全 体

佐賀・長崎



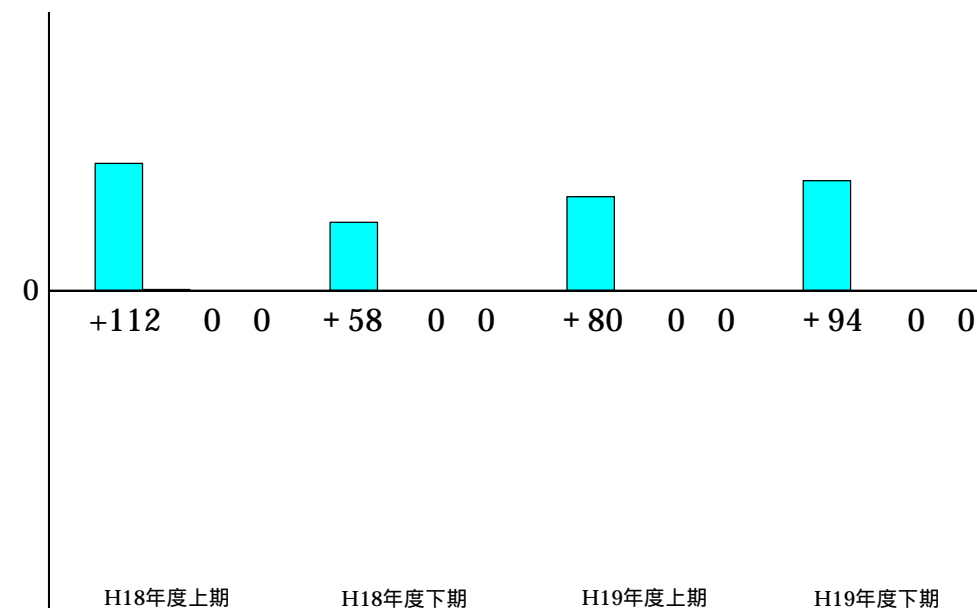
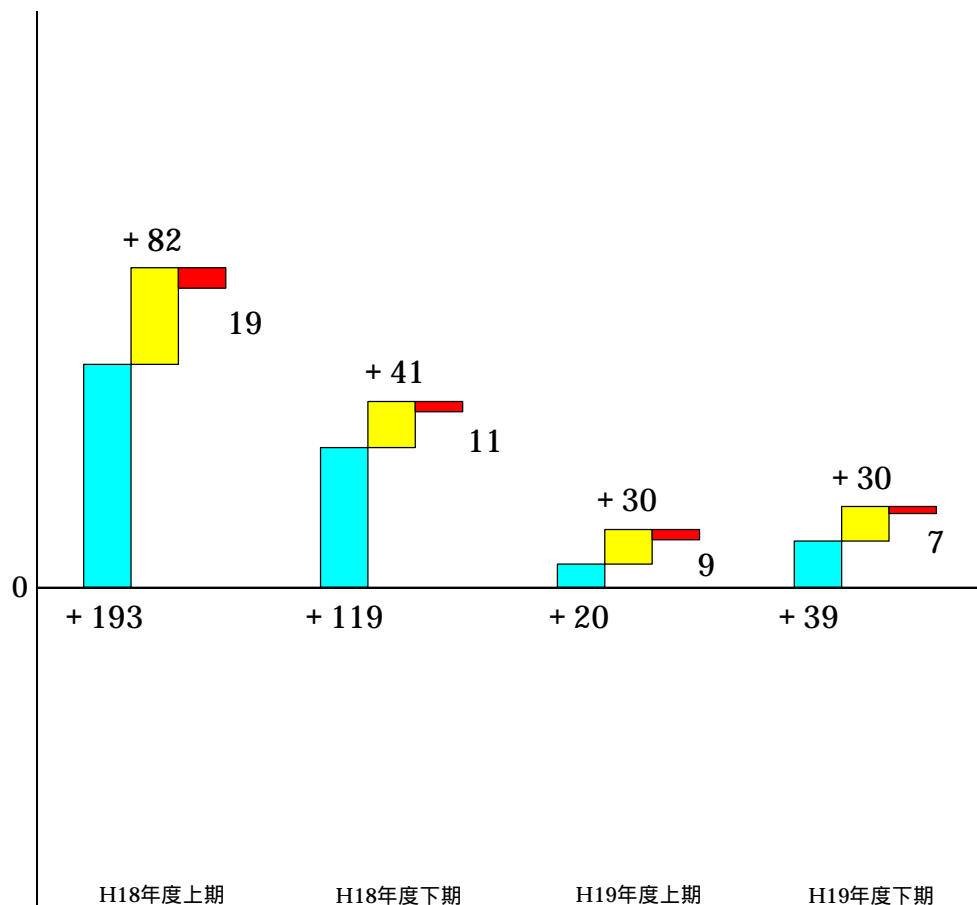
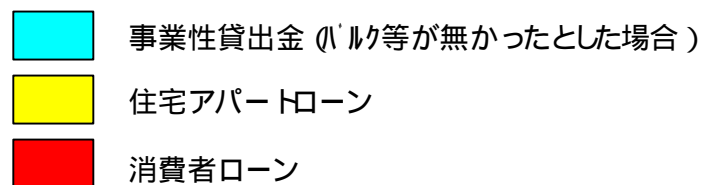
消費者ローンの平残減少に歯止め

事業性貸出金は総貸出金から政府向け、地公体向けおよび個人ローンを除いたものです。
 単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

貸出金平残の状況 [8 - 1の半期別・地域別 (続き)]

福岡

東京

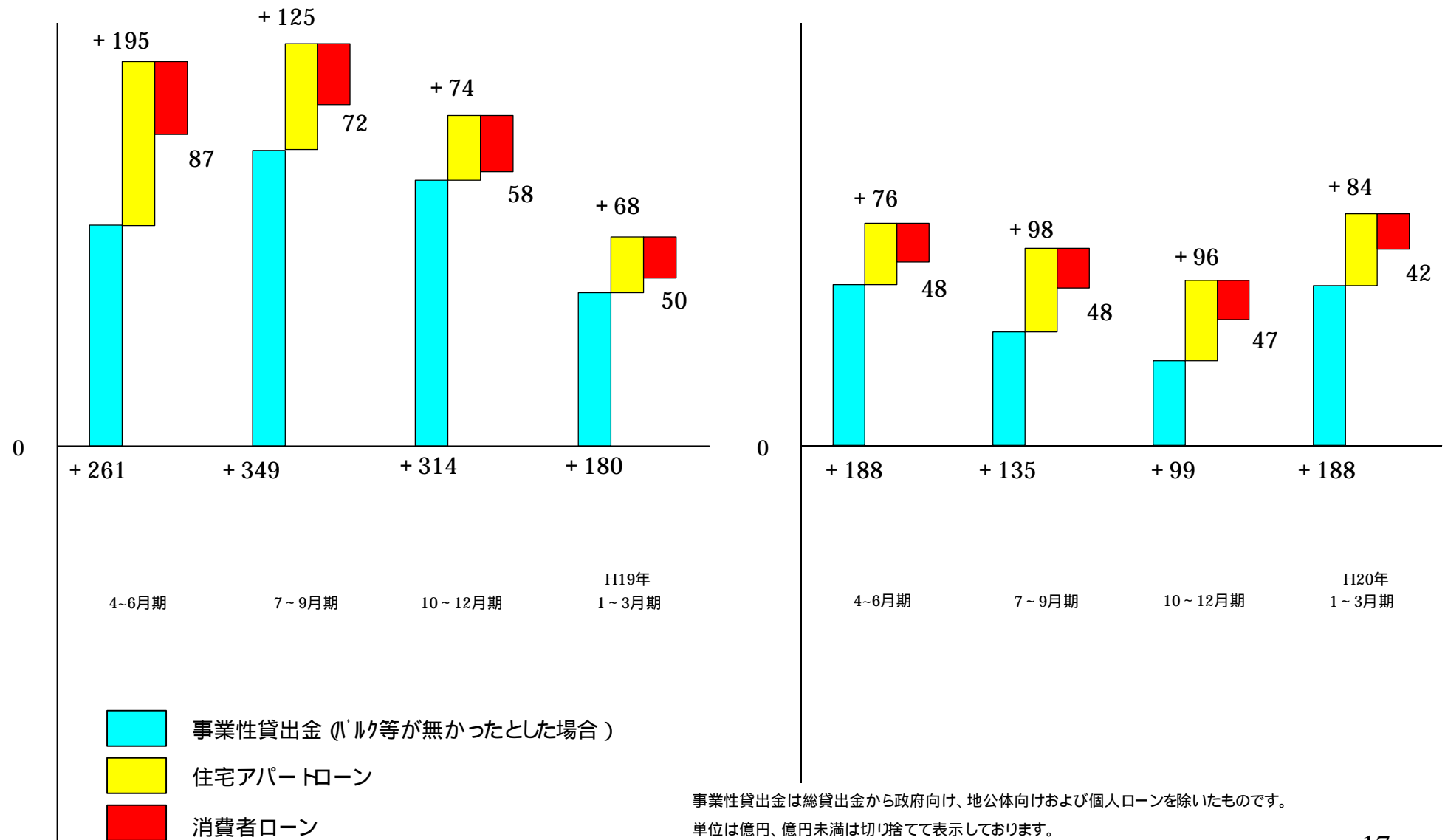


事業性貸出金は総貸出金から政府向け、地公体向けおよび個人ローンを除いたものです。
 単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

(付)貸出金平残の状況 [8-1の四半期別(全体)]

H18年度

H19年度



事業性貸出金は総貸出金から政府向け、地公体向けおよび個人ローンを除いたものです。
 単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

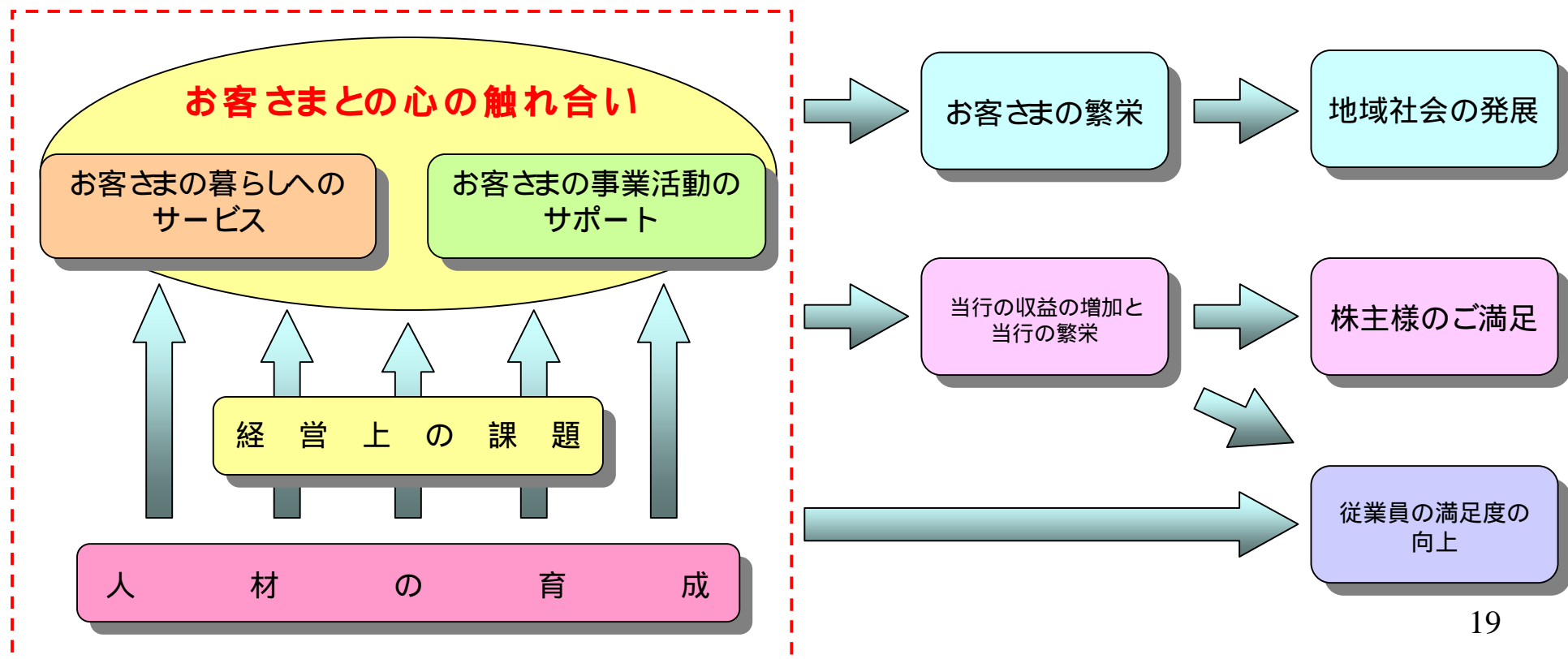
部 第12次中期経営計画の進捗状況

9.第12次中期経営計画のテーマ	・・・19
10.第12次中期経営計画の進捗状況	・・・20

9. 第12次中期経営計画のテーマ

第12次中期経営計画
計画期間：平成19年4月～平成22年3月
テーマ：より深くお客さまの暮らし、事業、そして心の中へ
～「さぎんさん」と呼ばれる銀行をめざして～

(イメージ図)



10.第12次中期経営計画の進捗状況

項目	番号	平成18年度 (発射台)	平成19年度 実績	平成21年度 目標
コア業務純益 (注1) (億円)	1	98	99	117
当期純利益 (億円)	2	48	76	56
ROE (注2)	3	6.0%	9.0%	6.0%
自己資本比率	4	9.76%	10.46%	10.6%
Tier 比率	5	6.29%	7.03%	7.3%
Tier 中繰延税金資産の比率 (注3)	6	13.79% (28.63%)	20.3% (29.1%)	(注4) 1.0% (13.9%)
不良債権比率	7	5.87%	3.85%	3.2%
同貸倒引当金控除後の比率	8	2.04%	2.23%	1.4%
OHR	9	72.73%	70.8%	(注5) 68.0%

注1 :一般貸倒引当金繰入前、債券5勘定戻調整後の業務純益。

注2 :当期純利益÷{(期首自己資本+期末自己資本)÷2}

注3 :カッコ内は繰延税金負債控除前

注4 繰延税金負債はH21年度末の有価証券評価損益をH18年度並として計算。

注5 経費についてはH21/5に三行共同化による新システムが稼働予定であり、その導入コストがピークとなる。

部 貸出金利息増加策

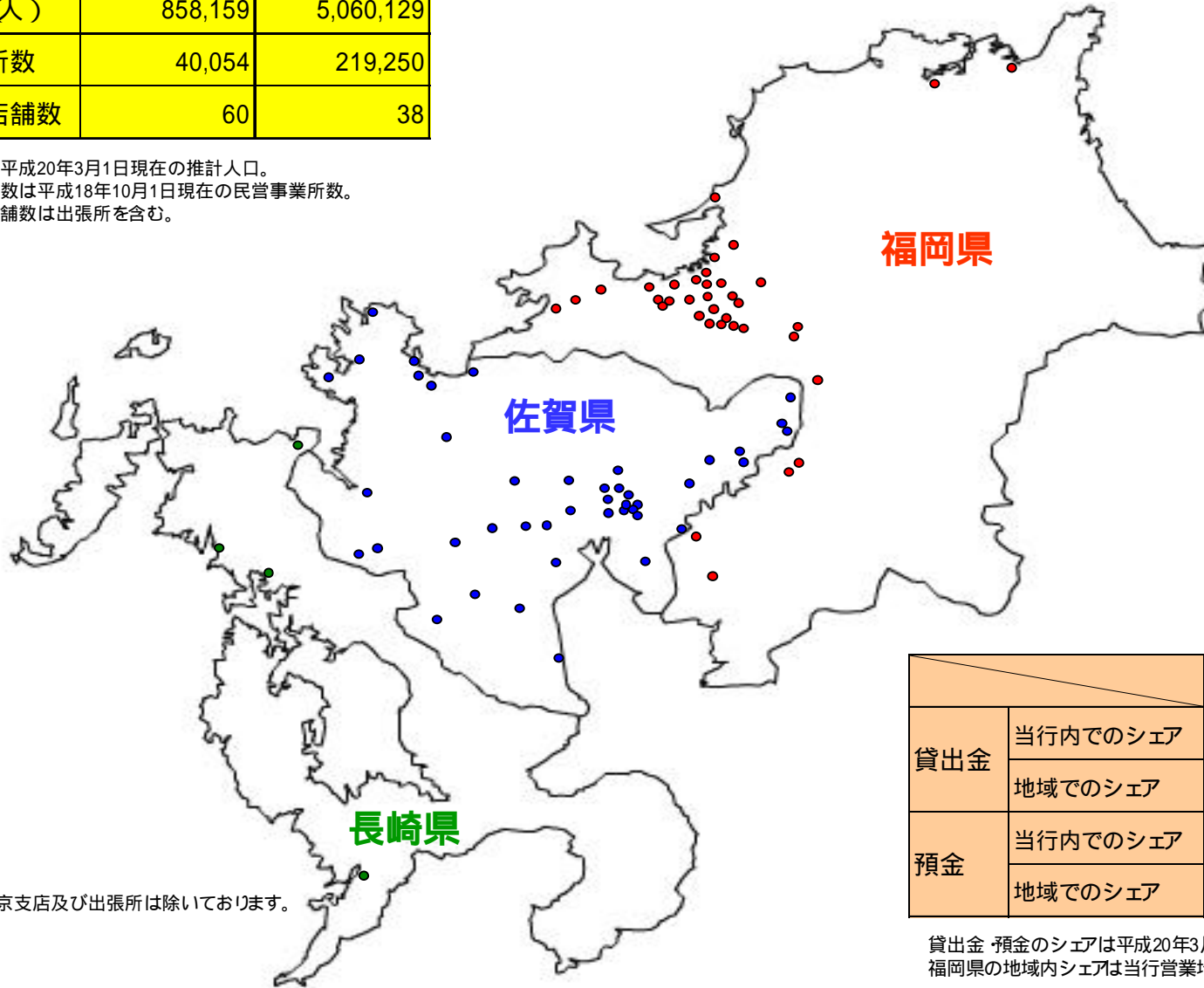
11 .佐賀と福岡 - 巨大な福岡市場	・・・22
12 .福岡戦略 - 事業性貸出金の増加策	・・・23
13 .福岡戦略の実績	・・・24
14 .佐賀県内の景気動向	・・・25
15 .佐賀・長崎地区での事業性貸出金の増加策	・・・26
16 .個人ローン増加策	・・・27

11.佐賀と福岡 - 巨大な福岡市場

	佐賀県	福岡県
人口(人)	858,159	5,060,129
事業所数	40,054	219,250
当行店舗数	60	38

人口は平成20年3月1日現在の推計人口。
 事業所数は平成18年10月1日現在の民営事業所数。
 当行店舗数は出張所を含む。

当行の店舗ネットワーク



東京支店及び出張所は除いております。

		佐賀県	福岡県
貸出金	当行内でのシェア	53.7%	34.9%
	地域でのシェア	45.0%	2.6%
預金	当行内でのシェア	77.8%	20.1%
	地域でのシェア	55.4%	1.5%

貸出金・預金のシェアは平成20年3月末現在残高ベース。
 福岡県の地域内シェアは当行営業地域。

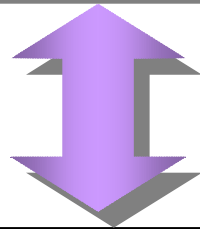
12.福岡戦略 = 事業性貸出金の増加策

1. エリア営業体制の導入等 (効率的な支店運営と成長地域への営業力強化)

- 平成 12年 6月 福岡県内に「エリア営業体制」を導入
以降エリア営業体制を順次拡大
(当初 4エリア 8カ店 現在 7エリア 15カ店)
- 平成 17年 4月 成長地域 (地下鉄七隈線沿線や福岡西部地区)への営業人員増強
干隈、姪浜、早良西、片江、周船寺
- 平成 20年 2月 成長店舗への営業人員増強
周船寺、小倉

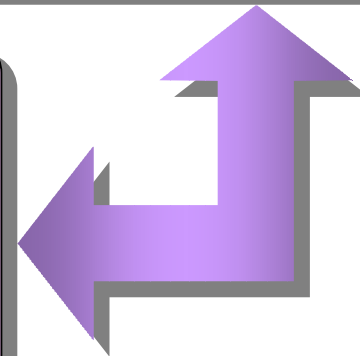
2. 法人渉外室の設置 (福岡地区での中堅優良企業の開拓)

- 平成 12年 6月 **法人営業室**を設置 (当初 4名)
- 平成 18年 10月 **医療専担者を2名**配置
(「社」日本医業経営コンサルタント協会」資格認定者)
- 平成 19年 3月 法人渉外室を、法人渉外グループ、医療グループ
国際グループに再編
- 平成 19年 4月 小倉に**北九州分室**を設置 (**2名**配置)
- 平成 20年 4月 北九州分室に**医療専担者を1名**配置
- 平成 20年 4月 久留米に**筑後分室**を設置 (**2名**配置)
- 平成 20年 6月 「**販売サポートグループ**」の新設予定
ビジネスマッチング、M&A、事業承継、シジケートロ-ン
等の強化
(現在 **16名**、マイホームセンターを除く)



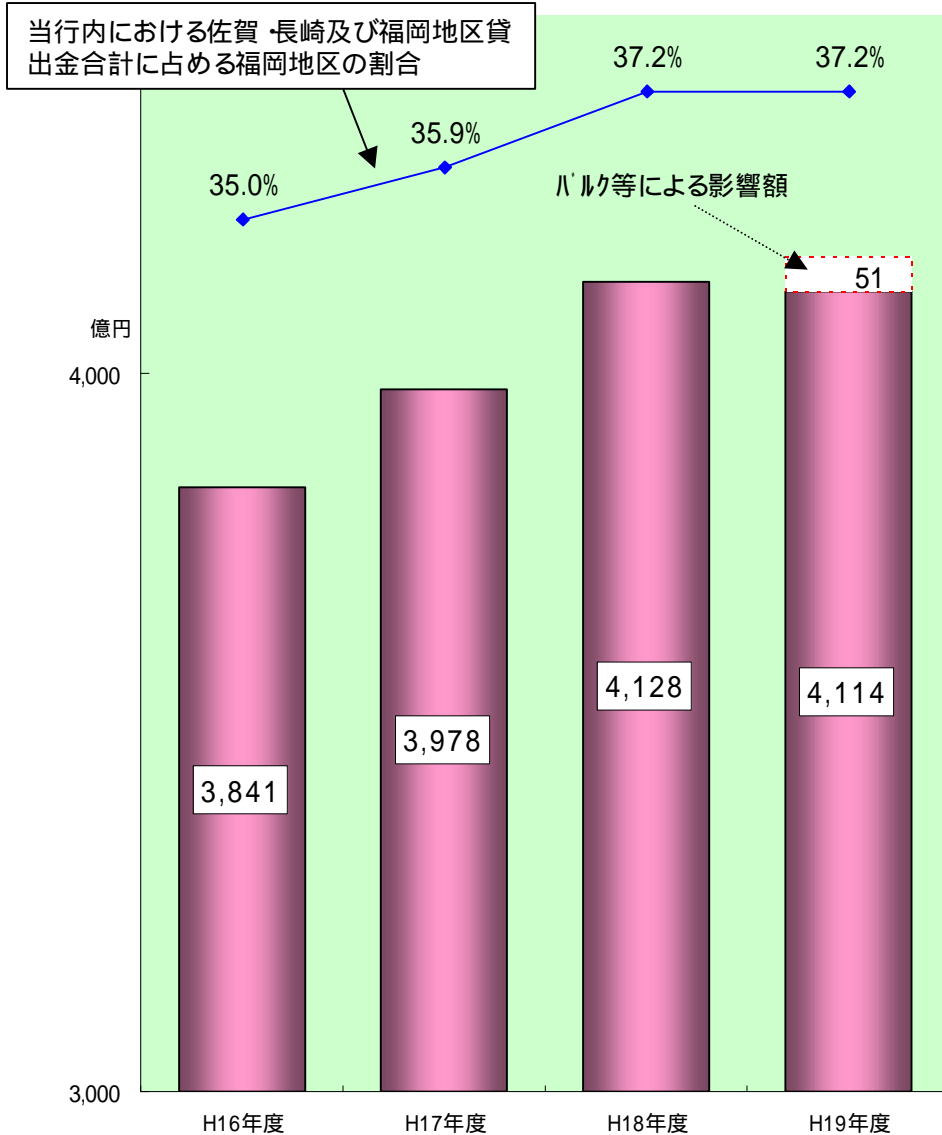
3. 融資戦略店舗の指定と特定見込み先融資開拓専担者の配置 (各支店レベルでの優良企業の開拓)

- 平成 15年 2月 主要 **7店舗**を**融資戦略店舗**に指定
福岡、博多、渡辺通、西新町、箱崎、久留米、博多駅東
専担者を計 **15名**配置
- 平成 17年 4月 **小倉支店**を融資戦略店舗に追加指定
専担者を**2名**配置
既存の融資戦略店舗に専担者増員
- 平成 20年 4月 **八幡支店**を融資戦略店舗に追加指定
専担者を**2名**配置
(現在 **9店舗** 専担者 **21名**)

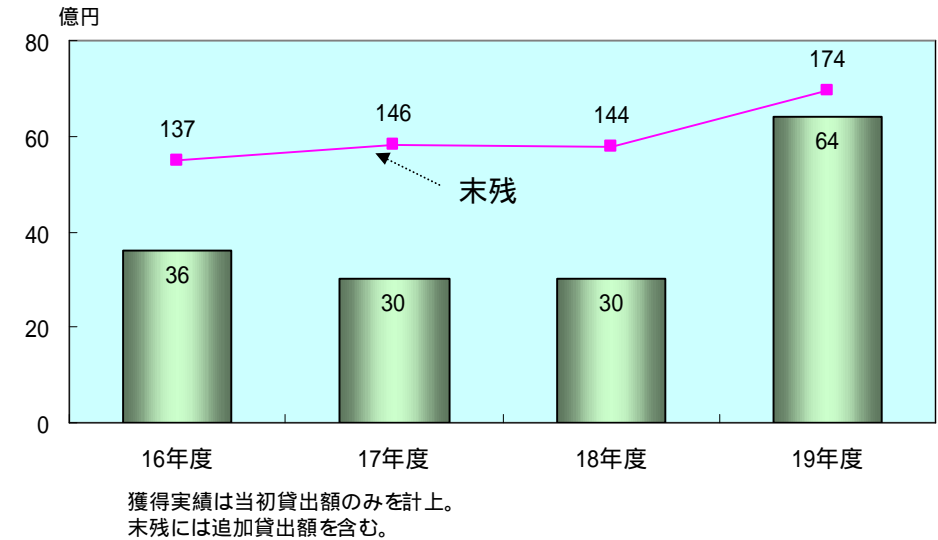


13.福岡戦略の実績

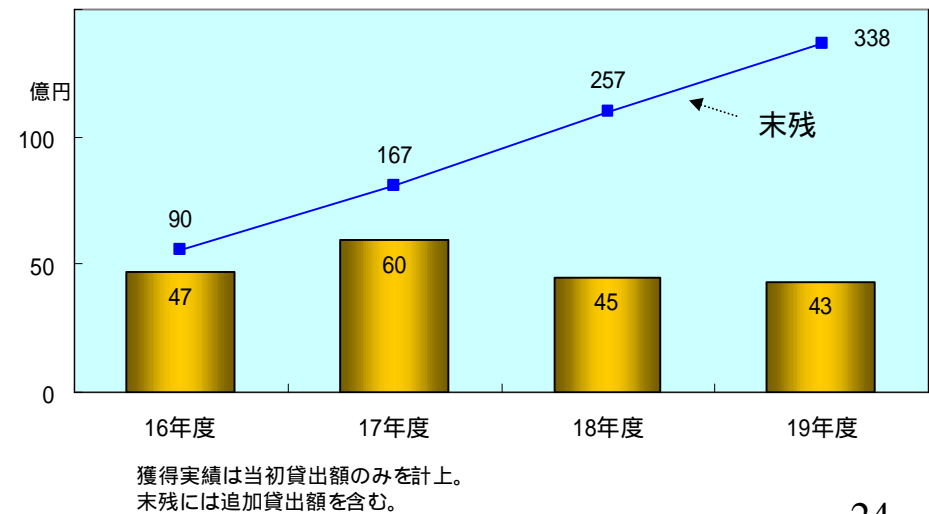
1.福岡県内における貸出金平残の推移



2.法人渉外室の獲得実績と未残推移



3.専担者の獲得実績と未残推移



14.佐賀県内の景気動向

1.県内地元紙の企業経営動向調査の見出し

平成18年

1～3月 原油高強まる懸念

4～6月 設備投資への意欲旺盛

7～9月 景気回復基調に力強さ

10～12月 多業種で利益率改善

平成19年

1～3月 旺盛な設備投資意欲

4～6月 原材料費の高騰深刻

7～9月 原料高騰価格転嫁進む

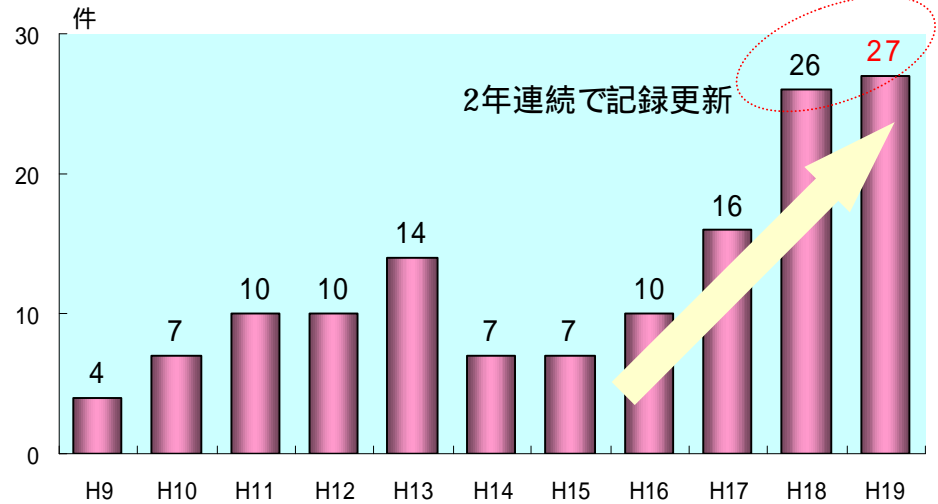
10～12月 製造、非製造で明暗

平成20年

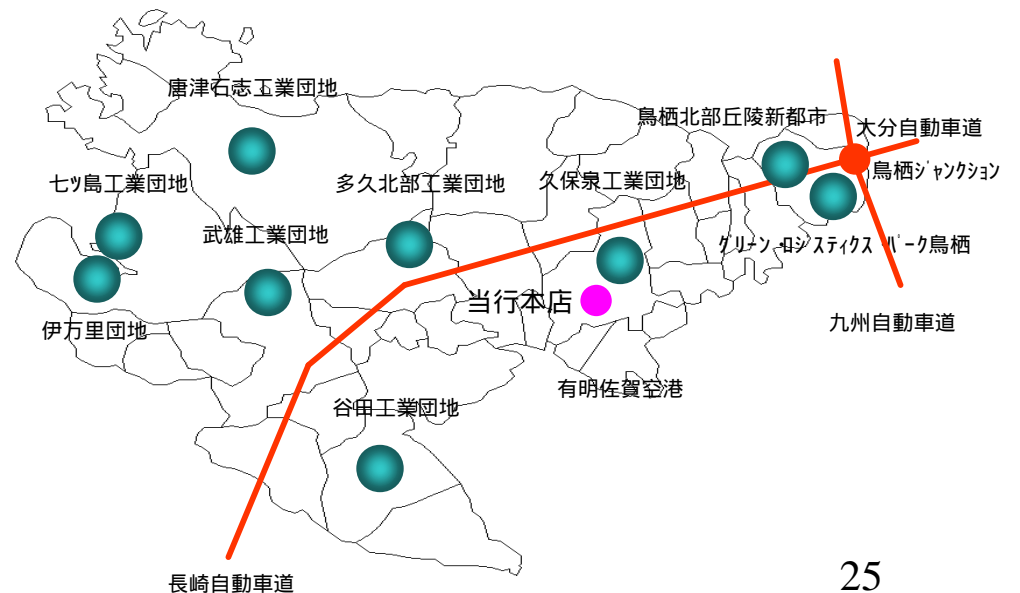
1～3月 価格上昇で景気減速

出所:佐賀新聞

2.県内誘致企業件数の推移



3.県内工業団地の分布

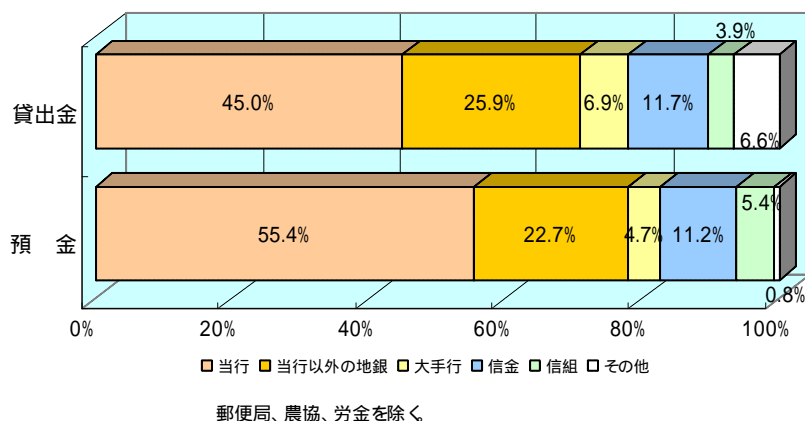


15.佐賀・長崎地区での事業性貸出金の増加策

1.エリア営業体制の導入 (効率的な支店運営)

平成12年 6月 佐賀県内に「エリア営業体制」を導入
以降エリア営業体制を順次拡大
(当初 6エリア12カ店 現在 8エリア 18カ店)

ご参考:佐賀県内金融機関の預貸金シェア (H20/3末)



2.営業力の強化

- 平成16年 4月 本部推進部門に**医療専担者を1名配置**
- 平成16年 6月 佐賀県鳥栖地区、伊万里地区、唐津地区への営業人員増強
- 平成17年 4月 **医療専担者を1名増員**
佐賀県伊万里地区、長崎県長崎地区、佐世保地区への営業人員増強
- 平成18年 4月 **医療専担者を1名増員し3名に**
- 平成20年 4月 佐賀県鳥栖地区、伊万里地区への営業人員増強
- 平成20年 6月 **法人渉外室**の新設予定
ビジネスマッチング、M&A、事業承継、医療、県内進出企業へのアプローチ等の強化

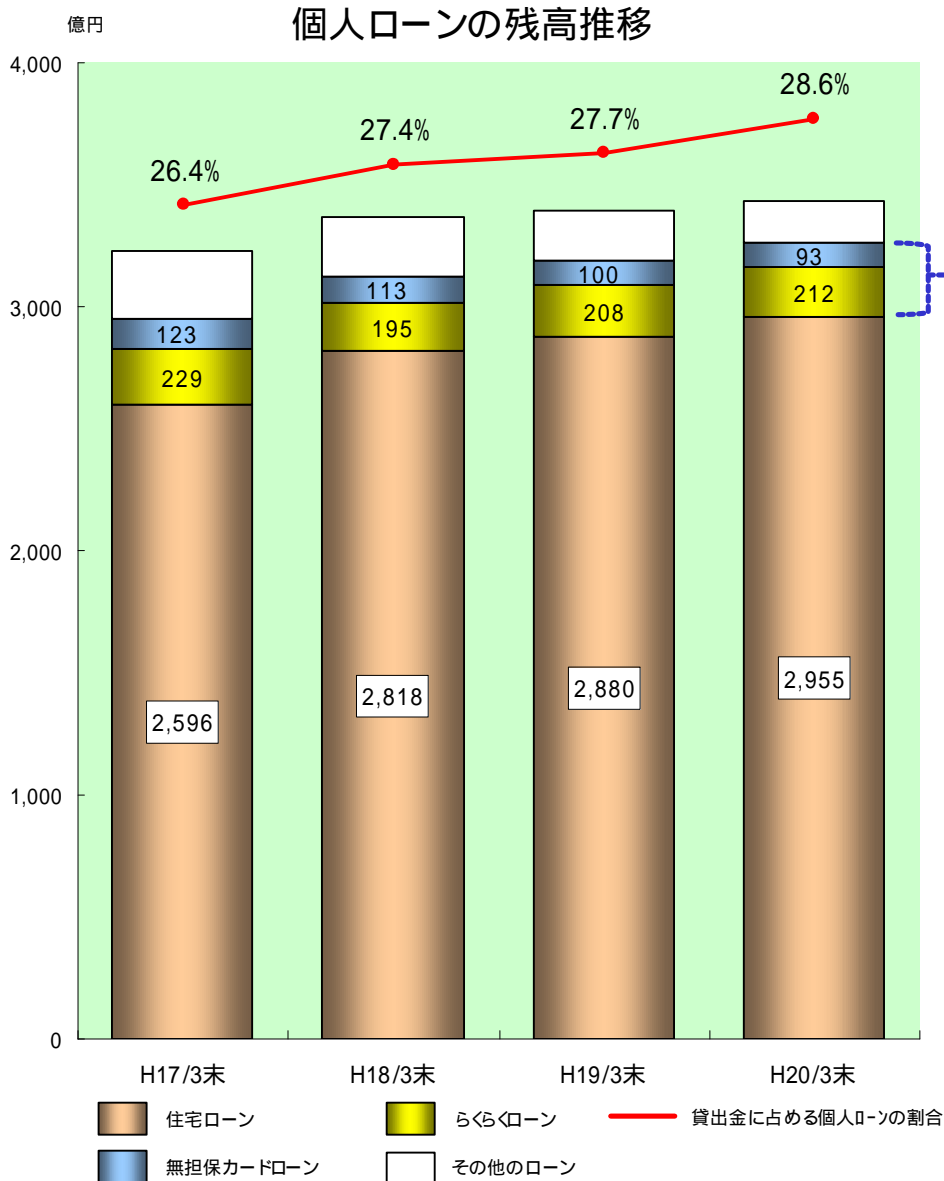
3.融資戦略店舗の指定と特定見込み先融資開拓専担者の配置 (各支店レベルでの優良企業の開拓)

- 平成17年 4月 **佐世保支店**を融資戦略店舗に指定
専担者を2名配置
- 平成19年10月 **専担者を2名増員**
(現在 **1店舗** 専担者 **4名**)



16.個人ローン増加策

住宅ローンに加え、消費者ローンの強力推進により利収増加を図る



1.消費者ローン(住宅ローン除く)

完全非対面型**ATMカードローン**の開始 (H18/10)

モテカカードの導入 (H19/7)とその展開

カードローン機能、リボ払い 割賦販売機能、ICチップ搭載
ケータイクレジット機能、ETCカード機能等

(5月末現在 会員数 92,213名)

コールセンターの新設 (H19/10)

電話 DM等、アウトバウンド部門におけるローンセールスの強化

らくらくローン 従来型無担保カードローンの推進

2.住宅ローン

超長期固定金利型の導入 (H19/7)

特約期間25年、全期間固定25年 35年

マイホームセンターの機能強化

マイホームセンターの増員
審査業務に加え受付業務の開始



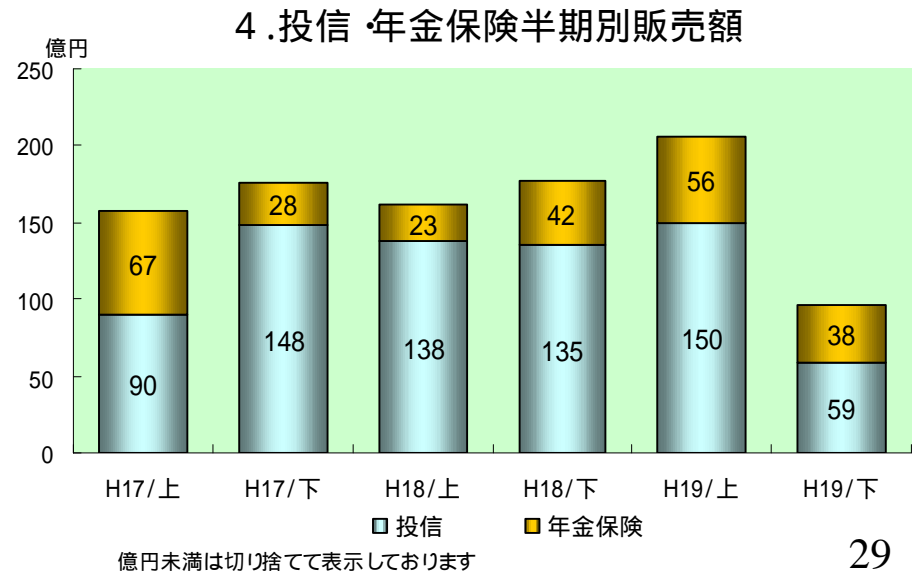
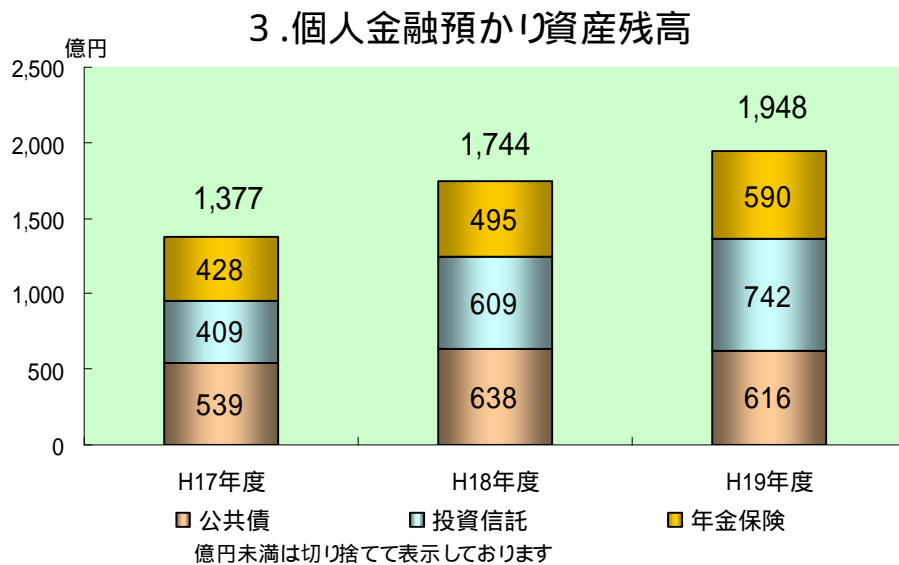
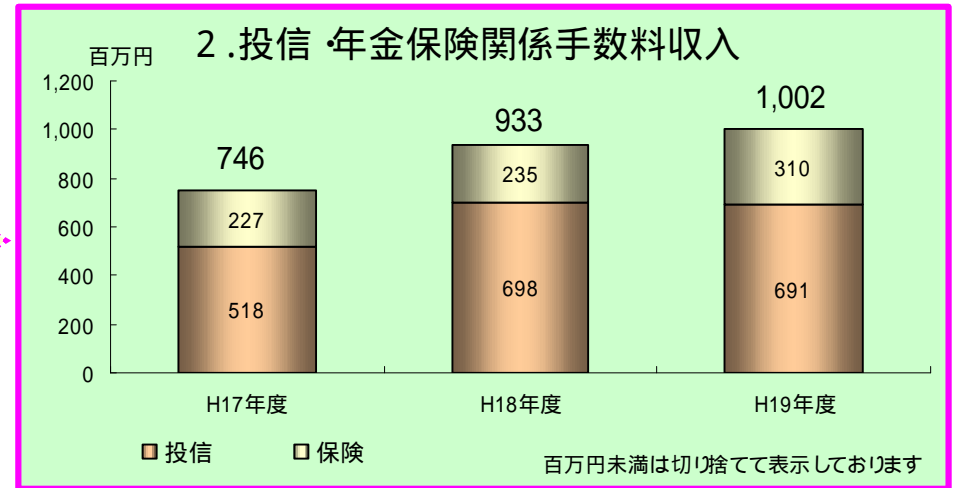
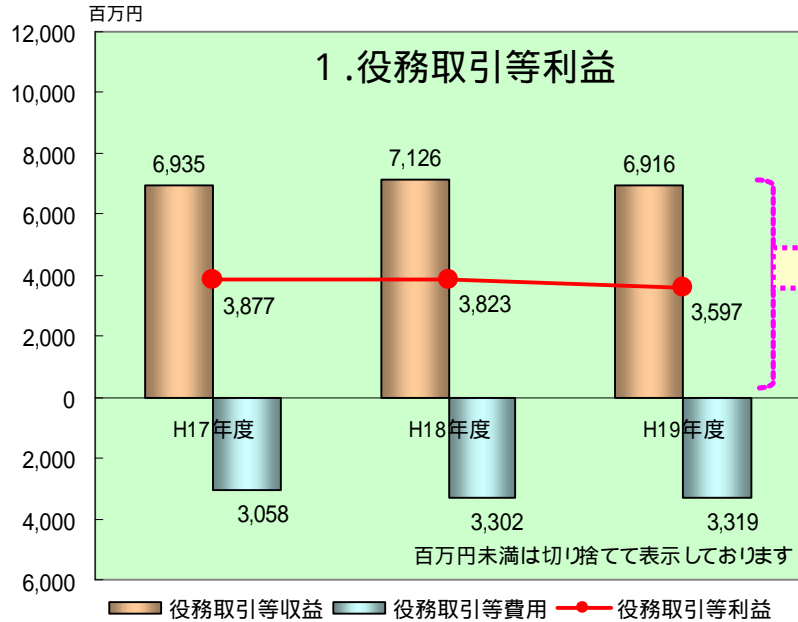
部 役務取引等利益増加策

17 .役務取引等利益の状況 ……29

18 .役務取引等利益の増加策 ……30

17. 役務取引等利益の状況

➤ 推進体制の一層の強化により伸びる余地大



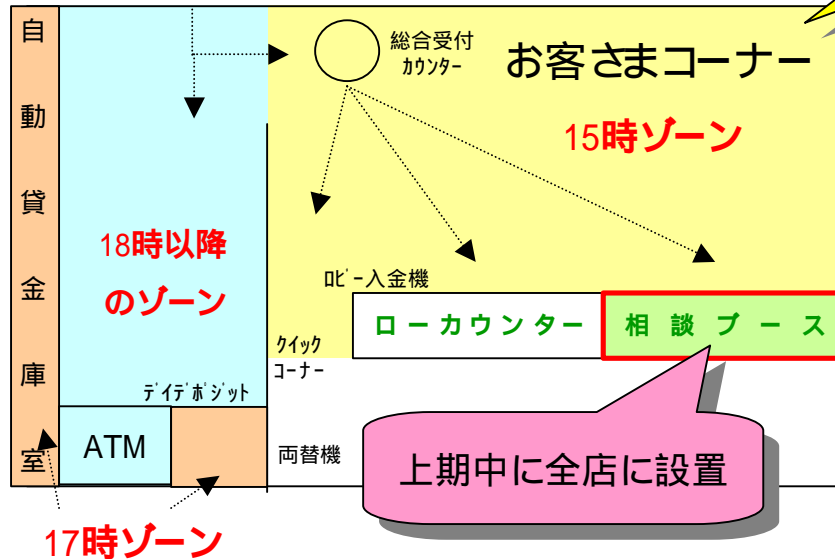
18. 役務取引等利益の増加策

▶ 個人預かり資産の増強へ向けた営業店・本部一体となった取り組み

営業店

1. 店頭態勢の変革と店頭営業力の強化

(店頭態勢の変革)



(導入店舗)

H17年度 水ヶ江 (第1号店)
 H18年度 福岡、津古、佐賀医大前、三間坂、姪浜
 H19年度 本店営業部、和多田支店
 H20年度予定 鳥栖支店建替え

店頭営業力の強化

一般職・パートタイマーの販売資格取得

店頭営業・事務力認定制度によるスキルアップ

窓口チーム」の個人表彰制度

マネーアドバイザー制度の導入 (H20年上期)

預り資産販売専門スタッフの配置

本部

2. PB推進室による営業店支援

CFA制度
証券仲介業

▶ 法人ソリューション営業と営業店支援体制の強化

法人渉外室 (営業推進部内) 及び **ご商売サポートグループ** (福岡本部内) の新設 (H20年6月)

部 経費の削減策

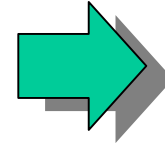
- 19 .三行共同化とコスト削減プロジェクト ……32
- 20 .施策の物件費削減効果 (物件費の推移比較) ……33

19. 三行共同化とコスト削減プロジェクト

1. 三行共同化とその進捗状況

当行、十八銀行、筑邦銀行の三行による基幹システムの共同化を行い、システム開発・運用を日本ユニシス㈱に委託

→ **平成21年5月稼働予定**



共同開発・共同運用することにより、
システム開発・運用の効率化
システム経費の削減を実現

進捗状況

システム正当性の確認テスト → 単体確認テストを終了し総合テストへ

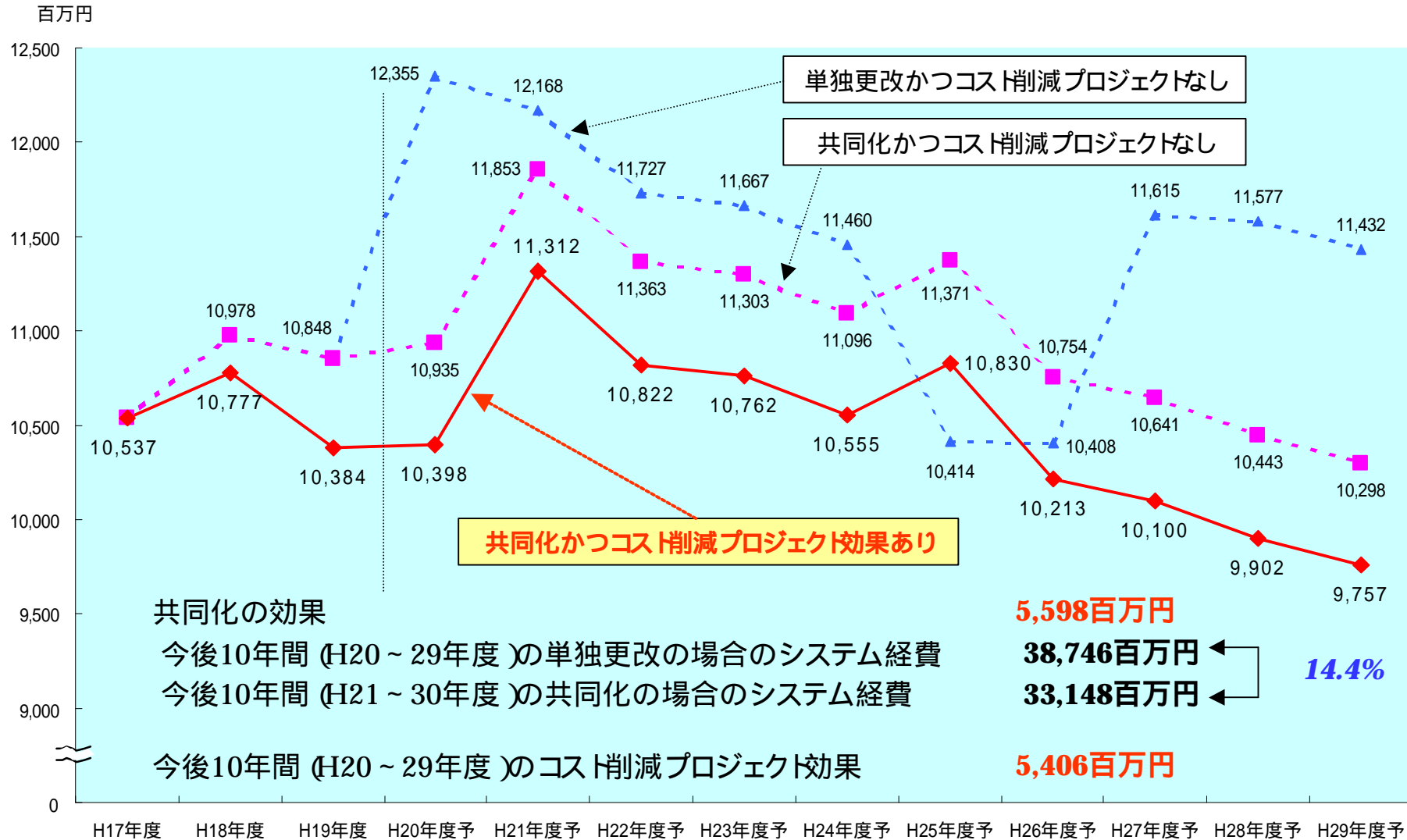
営業店研修 → インストラクター研修、本部集合研修、地区別研修を実施 (事務やオペレーションを確実に習得させる)

2. コスト削減プロジェクト(平成18年2月～平成19年6月)の成果

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度以降各年
201	464	537	541

20. 施策の物件費削減効果 (物件費の推移比較)

➤ 三行共同化及びコスト削減プロジェクトの効果により、物件費増加の抑制を実現



百万円未満は切り捨てて表示しております。

平成25年度以降の物件費は、システム経費以外の経費はH24年度と同じと仮定。

共同化による削減効果には人件費も含まれております。

システム経費の予想にはホスト更改以外の新規業務への投資は含まれておりません。

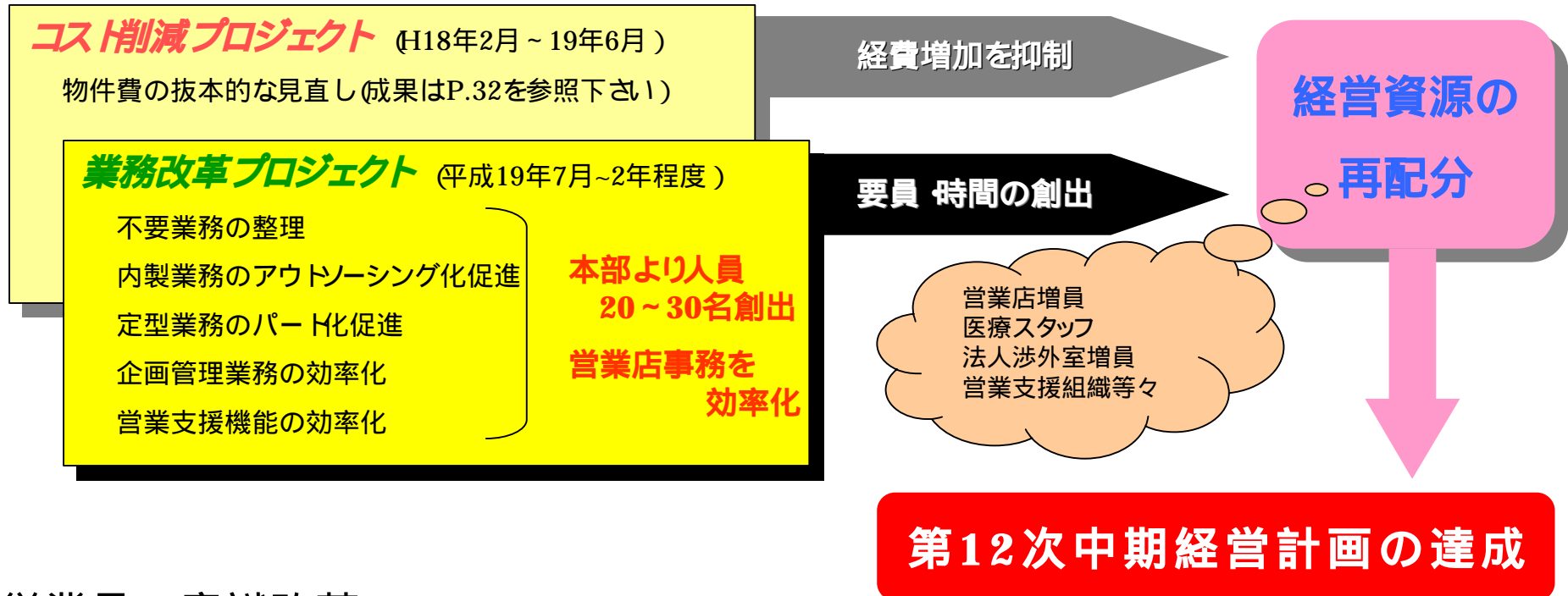
部 イノベーション

21 .さらなる成長への改革

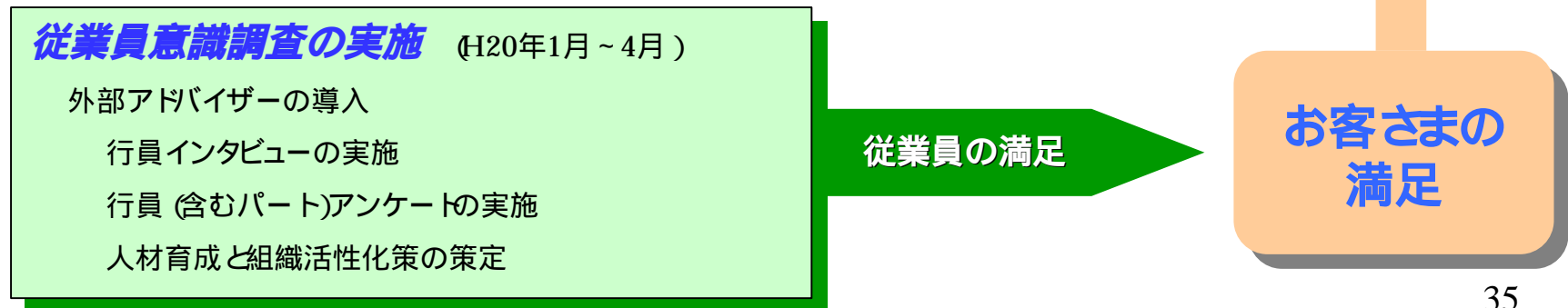
…35

21.さらなる成長への改革

➤ さらなる成長を目指し、抜本的な行内改革の実施 継続



➤ 従業員の意識改革



ご参考 平成20年度入行式頭取訓示

本日当行は、六十人の新しい仲間を迎えることになりました。心から皆さんを歓迎します。

そこで、皆さんに歓迎の言葉を述べさせてもらうわけですが、今日はここにおられる六十人だけではなく、一年前二年前、あるいは十年前二十年前に皆さんと同じように入行式をあげた先輩の人達も対象として、話をしたいと思います。

私は行員の皆さんとの対話の場として行内LAN上に「頭取からのメッセージ」というセクションを設けています。今日入行された皆さんも配属先の営業店で見て下さい。そのメッセージの一部を、今年に入ってから当行のホームページにも転載することにしました。これは皆さんの自宅でもインターネットで見ることができます。

転載にあたっては、私のメッセージでは時折外部の方の著作の一部を引用することがありますから、引用について著者のご了解を得ることが必要になります。そんなメッセージの一つで小松田 勝 (こまつだ まさる)さんというこの方は東京ディズニーランドの食堂部の教育担当リーダーなどをされた方で、今はマネジメントや人材育成などのコンサルタントをしておられる方ですが、の文章を引用することについてご了承をお願いしたところ、後日「パーフェクトサービスレストラン」というご著書を送って下さいました。

この本は、レストランのマネジメントとその成功例について半分フィクション半分リアルの物語だということですが、色々共感するところのある本です。

良いレストランは、「レストランはホスピタリティビジネスだ」という強い信念と高い意識を持った人達の集団が、その中でよく意思疎通を図りながら、一つまた一つと問題を乗り越えていくことによって初めて出来上がるものだと理解できます。

この小松田さんの本を読んでいる途中で、私は、福岡の栄光病院のホスピス病棟で長い間多くの末期がん患者を診て来られた下稲葉 康之 (しもいなば やすゆき)先生と短時間ですがお話しする機会がありました。私は、「肉親一人の通常の介護すらなかなか出来ないのに、死に直面し難み苦しんでいる多勢の人達に先生はどうして対応できるのでしょうか」と素朴な質問をしてみました。先生はただニコニコしておられましたが、「一人の患者さんへの対応はグループでするのですよ」と言われ、帰りには先生の書かれた「癒し癒されて 栄光病院ホスピスの実録」という本をいただきました。この本からも色々教えられます。書中で先生は、「ホスピスの心は温かいもてなしの心です。ホスピスケアには患者を愛し、その幸せのために少しでも役立ちたいという使命感をもった多職種のスタッフが良いチームを作り、協力を密にする必要があります」と言っておられます。

こういった記述を読んでいると、銀行の支店というは何なのだろうな、ただの事務処理の場になっているのではないかな、お客さまを温かくお迎えしているだろうか、と反省させられます。

レストラン、ホスピス病棟、そして銀行の支店、それぞれ全く別のもののように見えるかも知れませんが、いずれもお客さまや患者さんをお迎えする集団として、それぞれその使命を有することに変わりはありません。

さて、六十人の皆さんには少しわかりにくい話だったかも知れませんが、後で紙に印刷したものを渡しますから、しばらく銀行生活を経験してから、また読んでみて下さい。

もう少し皆さん向きの話をしましょう。

皆さんのこれ迄の生活では、多分学科目の試験の成績とか、どこの学校を出たかといったことが、皆さんを評価する基準になっていたと思います。そのため皆さんは気付いていないかも知れませんが、皆さんの中には、そういった評価の基準では測れない沢山の善いもの、誠実さであるとか、優しさであるとか、勇気、正義感等々が詰まっています、外に出たい、外に出たいと言っているのです。私にはその声が聞えます。

レストラン、ホスピス病棟、銀行、それぞれ働く場所も仕事の中身も違いますが、皆さんが銀行を選んだ以上は、そこで高い意識や高い使命感をもって、プロフェッショナルとして、と同時に一人の人間として成長して行って欲しいと思います。そしてその際皆さんの持っている善いものをどんどん出して行って下さい。

皆さんご存じのとおり現在金融機関は激しい競争をしています。その中で当行は、「さぎんさん」、「佐賀銀行さん」と「さん付け」で呼ばれる銀行になることを目指して日々努力しています。早く「佐賀銀行、いい銀行だね」と言ってもらえるようになりましょう。しかしそのためには六十人の皆さんを含め私達一人一人が「佐賀銀行の人達、いい人達だね」と言ってもらえるようになる必要があるでしょう。

今日の辞令交付を見ると鳥栖支店へ配属になった人もいますが、鳥栖支店に行くと多分、「ウワー古い汚れた建物だな、歩くと床がシシシいう」と思うでしょう。昭和三十六年の建築で四十七年を経過したこの鳥栖支店は、来年二月を目途に近くの新築の建物に移転する予定です。ただ移転するというだけではそれまでのことですが、この新しい店には約五十台を収容できる駐車場を設け、かつその台数の半分くらいは屋根付きにしようとしています。

雨の日に濡れながら来店されるお客さまを見るたびに、ありがたいことだ、お客さまを濡れないようにして差上げられないかという思いが募ります。と、矢張り屋根を付けるにはコストがかかりますから、他の店のお客さまに「私の行く店の駐車場も屋根を付けてよ」と言われても困りますが、鳥栖支店の例を私達のお客さまへの思いのシンボルとしたいと考えました。

今後当行がお客さまの支持を得て、今以上に収益をあげられるようになれば、是非とも屋根付きの駐車場を増やしていきたいものです。

しかし将来の銀行は、私より六十名の皆さんのものです。皆さんの銀行を皆さんがどう作っていかれるのか、楽しみです。

皆さんの健闘を祈ります。

【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行
総合企画部
担当 森田、山崎

TEL 0952 - 25 - 4555

本資料に記載された将来の予測等は資料作成時点の当行の判断であり、将来の業績等を保証するものではありません。今後、経営環境の変化などにより、変更される可能性があることにご留意ください。また、本資料は当行の財務状況および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。